



外国出張報告書

平成 26 年 11 月 13 日

1. 出張国名 ミャンマー
2. 出張月 平成 26 年 11 月
3. 出張目的 セミナーへの参加・発表及びイエジン大学打ち合わせ：D

4. 成果の概要

ネピドーにおいて、農業灌漑省（MOAI）大臣、農業研究局（DAR）局長、イエジン農業大学（YAU）学長等と面会し、ミャンマー農業、農業政策及び農業研究・教育の現状を聞き取った。MOAI 大臣より、JIRCAS との共同研究の手続きとして、閣議決定が不要で時間を節約できる YAU との MOU の締結が望ましいとの提案があった。

11 月 5 日、DAR 講堂において、「JIRCAS とミャンマーとの間の共同研究のための研究課題の確認：農業研究における成果とチャレンジ」というタイトルでセミナーを開催した。本セミナーは、ミャンマー国を対象とした農業研究プロジェクトの可能性を検討するため、JIRCAS とミャンマー側研究機関で、農業研究成果の概要や優先的な研究課題について発表し、意見交換することを目的とした。本セミナーには、60 名程度が参加し、JIRCAS より 9 名、MOAI 側は 7 名が 3 セッションに分かれて研究成果を発表した。

出張者は、第 1 セッションの司会を行い、第 2 セッションにおいて、「Research on emission reduction from the agricultural sector in the Mekong Delta, Viet Nam」と題して発表した。ミャンマー側は、水田からの温室効果ガス排出削減に関心を示し、共同研究の要望があった。

このほか、マンダレー地域の 2 か所の DAR 分場、農家を訪問し、地域農業の現状の聞き取りを行ったほか、ヤンゴンにおいて大使館、JICA 事務所を訪問し、JIRCAS の活動への協力を依頼した。